

初開催の APCC フォーラムで、循環型都市への移行が前進 「アジア循環型都市宣言制度 (ACCD)」で初となる行動計画を発表 ～ACCD 宣言都市がアジア 43 都市に拡大～

9 月 2 日から 4 日にかけて、横浜市と一般社団法人イクレイ日本（以下、「イクレイ日本」という。）は、アジア太平洋循環型都市フォーラム（APCC フォーラム）2026 を共同で初開催し、循環経済を推進するアジアの都市や国際機関など、国内外から 52 自治体・機関が参加しました。

9 月 3 日及び 4 日にパシフィコ横浜ノースで行われた 16 のセッションには、これらの自治体・機関のほか、企業の代表者や学生も参加し、アジアにおける循環型都市への移行の道筋について活発な議論を行い、9 月 4 日のクロージング・セッションにおいて、次の成果を発表しました。

1. 循環型都市をアジアで推進するための国際枠組み「アジア循環型都市宣言制度（ACCD）」への賛同が広がり、署名をした宣言都市が、7 か国 26 都市から 11 か国 43 都市に拡大
2. イクレイ日本が、ACCD 宣言都市を対象に実施した取組調査の結果を基に、アジア都市による優良事例を選定するプロジェクトを立ち上げるなど、ACCD として初となる行動計画を公表
3. 2027 年に APCC フォーラムと同時開催する第 9 回アジア太平洋都市フォーラム（APUF-9）に向けて、次世代の声を世界へ届けるための「横浜からアジア太平洋に広がる学生プロジェクト」を発足



新規 ACCD 宣言都市発表



ACCD 行動計画の発表



学生プロジェクトの立ち上げ発表

【ACCD 新規宣言都市】

イクレイ日本が、新規宣言都市として 17 都市を発表し、これにより ACCD 宣言都市は 7 か国 26 都市（人口規模 5700 万人超）から 11 か国 43 都市（人口規模 8200 万人超）に拡大しました。

日本	神戸市	ネパール	ダマウリ市	バングラデシュ	クシュティア市
インド	大ハイデラバード市公社 コチ地方自治体		ダンクタ自治体 ティロットマ自治体		スリープル自治体 バリシャル市
インドネシア	ジャブラ市 プロボリング市		ヘトウダ準大都市圏 ポカラ大都市圏	フィリピン	セブ州 ダナオ市
		パキスタン	ラワルピンディ市	マレーシア	ジョージタウン市

【裏面あり】



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【ACCD 行動計画「ACCD アクション 2026」の概要】

ACCD 宣言都市が互いに政策力を高めていくための行動計画を策定しました。

（１）アクション１：３つのワーキング・グループを発足

- ア. ACCD 優良事例ワーキング・グループ（Best Practices Working Group）
ACCD 宣言都市における優良事例を収集及び共有し、2027 年に 50 の優良事例の発表を目指します。
- イ. ACCD ソリューションマッチング/共創ワーキング・グループ（Solution Matchmaking/Co-Creation Working Group）
民間ソリューションの都市への導入促進を目指し、ACCD へのパートナー企業を募ります。
- ウ. ACCD 進捗管理ワーキング・グループ（Progress Tracking Working Group）
ACCD の進捗管理方法を整理し、ACCD 宣言都市向けに研修を実施します。

（２）アクション２：各国政府や国際機関に好影響をもたらす重要な地域イニシアチブとなるよう、国・国際機関との連携を促進

- ア. ACCD 事務局（イクレイ日本）は、国や国際機関との多層的な連携を推進します。
- イ. 上記の推進により、ACCD 宣言都市の新たな機会を創出します。
- ウ. ACCD の機能及び活動を強化するため、「欧州循環型都市宣言」やその他の組織と積極的に連携します。

（３）アクション３：ACCD 宣言都市の機会獲得を支える ACCD 及び事務局機能の拡充・強化

- ア. より多くの都市に ACCD への参加を呼びかけます。
- イ. ACCD の強化に資するプロジェクトの実現に向けて、国際機関や財団などに協力を働きかけます。
- ウ. 民間企業の参画メカニズム（ACCD パートナー）の導入を検討します。
- エ. ACCD レポートの発行・広報を推進します。

【次世代の声を世界へ届けるための学生プロジェクト】

詳細は、9 月 4 日【記者発表】「～未来に向けてアジア太平洋の都市課題に提案を！～『横浜からアジア太平洋に広がる学生プロジェクト』始動！！参加チームを募集します」をご参照ください。

URL:

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/seisaku/2026/0904gakuseiproject.html>

松浦 淳 横浜市副市長(主催者代表)のコメント

今回初開催となる APCC フォーラムを、共に作り上げていただいたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。都市、政府機関、国際機関、専門機関、企業、そして若い世代の皆様による多様な議論の結果、昨年横浜から始まった「アジア循環型都市宣言制度」の行動計画が発表されました。サーキュラーエコノミーに取り組むアジアの都市が、宣言から行動へと、大きな一歩を踏み出したことを嬉しく思います。

来年の APCC フォーラムは、横浜グリーンエキスポの期間中に、スケールアップして開催します。2027 年 8 月 30 日から 9 月 3 日までを「横浜サーキュラーウィーク」と呼び、国内外から、循環経済に関わる多くの方々が横浜に集まる機会とします。横浜市は、世界の都市と共に、循環型社会の実現に向けて取組を進めていきます。

【次頁あり】



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



竹本 和彦 イクレイ日本理事長(共同主催者)のコメント

本フォーラムにおいて、都市、政府、国際機関、企業、専門家、そして若い世代など、様々なステークホルダーの皆様で活発な議論が行われたことを大変嬉しく思います。

アジア循環型都市宣言制度は、本フォーラムのクロージング・セッションにおいて、宣言都市へのアンケート結果を踏まえたワーキング・グループの立ち上げなど、3つのNext Actionを発表させていただきました。

今回、新たに追加された17都市を含めた43の署名都市とともに、アジア循環型都市宣言制度の活動を推進し、引き続きアジアの循環型社会の実現に向けて貢献してまいります。

アルミダ・アリシャバナ 国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)事務局長の挨拶(抜粋)

アジア循環型都市宣言制度やアジア太平洋循環型都市フォーラムをはじめ、持続可能性と繁栄が両立する循環型都市の未来の実現に向けて都市主導の取組が進展し、その機運が高まっていることを歓迎します。持続可能な都市開発と国際協力の分野において長年にわたりリーダーシップを発揮してきた横浜市の実績を基盤として、地域全体におけるさらなる取組の加速に貢献することができるでしょう。

第9回アジア太平洋都市フォーラム(APUF-9)が2027年8月31日から9月2日まで横浜で開催されることを大変嬉しく思います。私たちは、フォーラム開催に向けて、横浜市及びすべてのパートナーとの協力関係を一層深めていくことを楽しみにしています。

ネスター・アーチバル セブ市長(フィリピン)のコメント

この画期的な会合は、地域の都市が経験を共有し、相互に学び合い、持続可能で循環型の都市づくりに向けた共通の取組を一層強化するための極めて貴重な機会となりました。

セブ市は、アジア循環型都市宣言制度(ACCD)の創設都市の一つとして、本フォーラムにおいて私たちの視点や経験を共有し、議論に貢献する機会をいただけたことに深く感謝します。

ACCDが今後も協働、知識共有、そして具体的な行動を推進するダイナミックなプラットフォームとして発展し続けることを期待しています。セブ市は、横浜市及び志を同じくする各都市と共に、より強靱で循環型のアジア太平洋地域の実現に向け、実践的かつ包摂的な解決策を推進していくことに引き続き尽力していきます。

マイク・ヨーゼフ フランクフルト市長(ドイツ)の挨拶(抜粋)

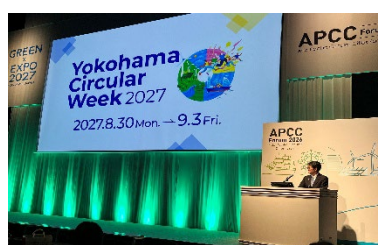
私は、国際協力をさらに拡大していかなければならないと強く信じています。

そのため、フランクフルト市は欧州循環型都市宣言のリードシティとして、欧州とアジアとの懸け橋となることを嬉しく思います。本日、欧州の都市を代表して参加できることを光栄に思います。これは、フランクフルトが持続可能性の推進にいかにか真摯に取り組んでいるかを示すものです。

持続可能性は単なる理念ではありません。私たちは、それが日々の自治体運営や政策決定における重要な判断要素となることを目指しています。



参加都市・機関集合写真



松浦副市長による閉会挨拶



会場の様子

【裏面あり】



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【アジア循環型都市宣言制度(ACCD)について】

アジア循環型都市宣言制度（ACCD）は、アジアの都市がサーキュラーエコノミーへの移行を加速することを支援する国際枠組みです。10 項目から成る本宣言に署名することで、都市は、サーキュラーエコノミーの原則の推進、地域間の連携強化、現在及び将来の世代に向けた持続可能で強靱な都市システムの実現に取り組む意思を示します。

欧州では、欧州循環型都市宣言という枠組みのもと、循環型都市への移行が進んでおり、アジアでも同様の枠組みが必要との考えのもと、令和 7 年 11 月に開催されたアジア・スマートシティ会議で、横浜市が発起し、イクレイ日本が設立を発表しました。第一号署名都市となった横浜市を含め、アジア 43 都市（人口規模 8200 万人以上）が本宣言制度に署名（令和 8 年 9 月時点）しています。

【アジア太平洋循環型都市フォーラム(APCC フォーラム)について】

APCC フォーラムは、これまで 14 回開催してきたアジア・スマートシティ会議の実績を基盤に、横浜市が主催する国際フォーラムです。ACCD の宣言都市をはじめ、政府機関・国際機関・研究機関・民間企業のリーダー・専門家など、マルチステークホルダーによる知見共有プラットフォームとして成長させ、アジアにおける循環型の都市づくりの推進を目指します。

APCC フォーラム 2026 の概要

テ　　マ		アジア太平洋地域における循環型都市移行への道筋 ～都市の結束と具体行動を GREEN×EXPO 2027 とその先へ～		
日 程	9 月 2 日	海外都市関係者向けのエクスカージョン		
	9 月 3 日	オープニング、プレナリー・セッション①②、シティネット・セッション等		
	9 月 4 日	ビジネスセクターセッション、ファイナンス・セッション、クロージング・セッション等		
会　　場		パシフィコ横浜ノース		
主　　催	横浜市	共　同　主　催	一般社団法人イクレイ日本	

※詳細は、APCC フォーラム 2026 ウェブサイトをご覧ください。<https://apcc.city.yokohama.lg.jp/>

お問合せ先

(APCC フォーラム全般について)

横浜市政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課担当課長 谷澤 Tel 045-671-4889

(アジア循環型都市宣言制度について)

一般社団法人イクレイ日本事務局長 内田 Tel 03-6205-8415



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

